

Business Report

2019年3月期 | 2018.4.1~2019.3.31

証券コード:3393

CONTENTS

トップメッセージ
事業紹介
成長戦略
トピックス
業績ハイライト
会社情報
株式情報
株主メモ



特集

当社グループの強みと 成長戦略

COVER PHOTO

Café Rounge「NEXT'S(ネクスト)」



スターティアホールディングス株式会社
代表取締役社長 兼 グループ最高経営責任者

本郷 秀之

アジアNo.1のITグローバル企業へ スターティアグループの挑戦は始まったばかりです。

株主の皆様には、日頃より当社グループへのご理解とともに厚いご支援を賜り心より御礼申し上げます。

1996年の創業当初から、ITソリューション分野でお客様第一の姿勢を追求し、時代のニーズに合ったサービスを提案・提供し続け、お客様からの信頼を獲得してまいりました。2018年4月には、環境変化の激しい時代の一步先を見据え俊敏に対応すべく、迅速な意思決定ならびに機動力を持った経営を推進していけるように持株会社体制を始動させました。

ホールディングスの主な戦略として、まず、デジタルマーケティング関連事業を第2の事業の柱から第1の事業の柱として育成してまいります。デジタルマーケティング領域は約5兆円*の急成長市場です。すでにスターティアグループの製品・サービスは豊富な実績を持ち、お客様からご評価をいただいております。これから一気にシェアを拡大するステージと考えております。次に、当社創業当初からの安定成長事業であるITインフラ関連事業は、現在の日本が抱える事業承継問題等の追い風もあり、OA機器会社のM&A案件が多く発生しております。当社グループはそれらの中でも顧客とのリレーションシップが良好な会社をM&Aし、事業拡大を図ります。引き続きスターティアグループとして事業ポートフォリオを最適化し、持続的な成長と企業価値を創出してまいります。かつITを通して様々な社会課題を解決し、社会貢献も果たしてまいります。

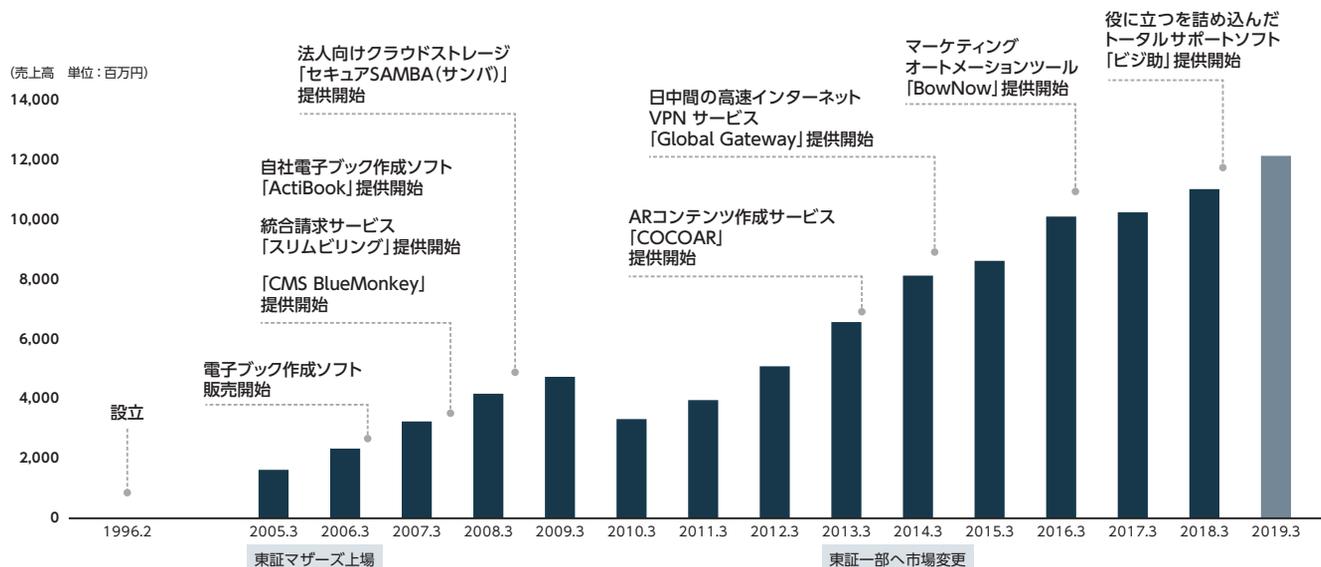
当社グループに引き続きご期待いただくとともにご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

*日本におけるデジタルマーケティング市場+AR市場 中国AR市場2022年予測 (各種調査データより、当社にて推定)

成長の軌跡

常に顧客志向、時代のニーズに合ったサービスを提供し、

「サブスクリプション型」で安定成長できるビジネスモデルへ



業績ハイライト

前期比増収、経常利益増益を達成

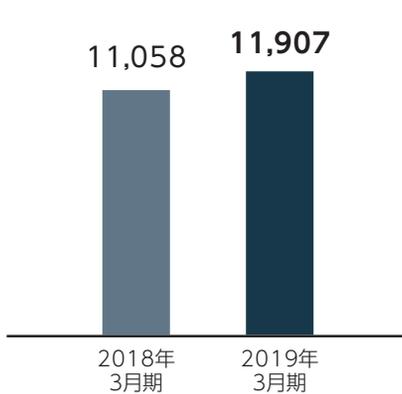
主力のデジタルマーケティング関連事業、ITインフラ関連事業が順調に売上高を伸ばし、前期比7.7%の増収となりました。利益面では事業強化のための採用や広告宣伝の強化を実施しましたが、効率化が図られ費用抑制ができました。かつ持分法による投資利益の計上や投資事業組合運営益を

計上したことで経常利益も増加し、前期比52.3%の増益となりました。当期純利益においては、前期と比較し減益となっていますが、これは前期に特別利益として投資有価証券売却益約4億円を計上したことによるものです。

主要な指標の推移

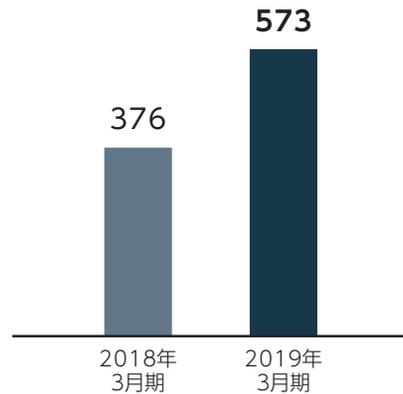
売上高

(単位：百万円)



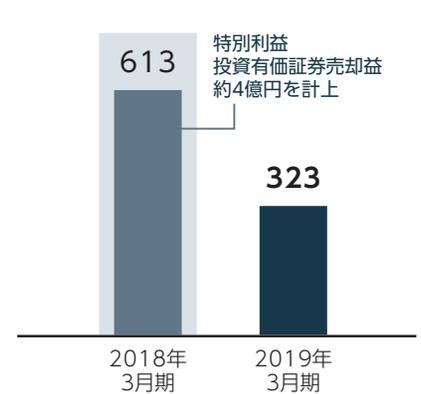
経常利益

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

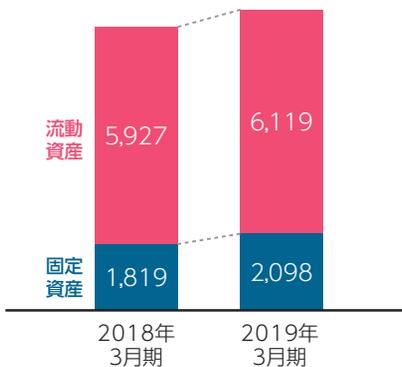
(単位：百万円)



連結貸借対照表

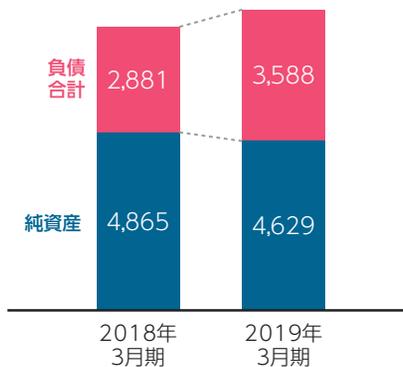
資産合計

(単位：百万円)



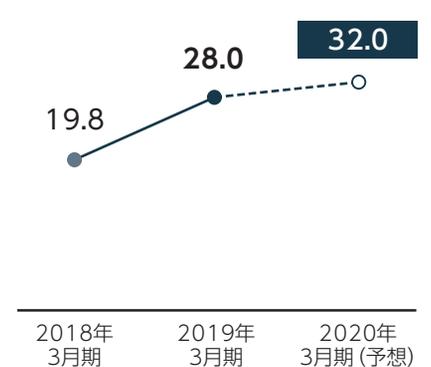
負債および純資産合計

(単位：百万円)



配当性向

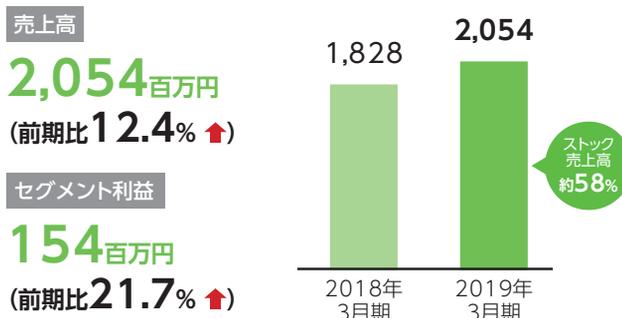
(単位：%)



主なセグメント別業績

デジタルマーケティング関連事業

COCOAR、CMS Blue Monkey等の主力商材が堅調に推移し、前期比増収増益。



ITインフラ関連事業

顧客目線に立ったサービス提案により前期比増収。採用強化等による人材関連費用が増加し前期比減益。



顧客に愛され、社会に貢献し、自ら永続的に進化し

スターティアグループはデジタルマーケティング、ITインフラの2事業を軸に、様々な事業を展開しております。今



デジタルマーケティング関連事業

セグメント別売上高

2,054百万円

企業が持っている情報をITサービスで最適化し、利益を上げる支援を実施。

AR制作ソフト「COCOAR」をはじめ電子ブック作成ツール「ActiBook」、マーケティングオートメーションツール「BowNow(バウナウ)」、CMSツール「CMS BlueMonkey」などWebアプリケーションの企画・開発・販売を中心に、Webサイトのコンサルティングも行っております。

豊富な導入実績

マーケティングオートメーションツール

Bow Now

導入実績 **2,500社超**

国内 **No.2**※1

Webサイト作成・管理ツール

CMS Blue Monkey

導入実績 **1,600社超**

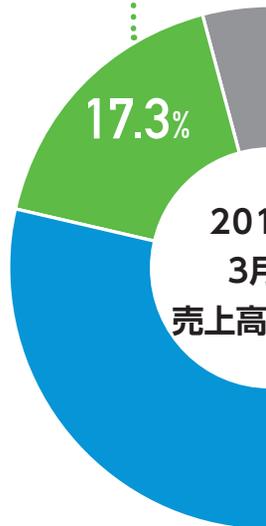
国内 **No.1**※2

各種アプリダウンロード数合計

AR ActiBook等

各種アプリ累計

500万 DL超



※1 出典 株式会社DataSign発表「DataSign Webサービス調査レポート 2019.3」

※2 出典 ITR|ITR Market View: ECサイト構築/決済代行/CMS/SMS送信市場2018 CMS市場一従業員100人未満：ベンダー別売上金額シェア(2018年度予測)

TOPICS

アジアクエスト株式会社と資本業務提携

2018年12月、IoT・AI等のITの先端技術を保有しているアジアクエストと資本業務提携(スターティアHDからの出資比率は約19.66% ※潜在株式含むと約21%)。MAツール「BowNow」のインドネシアでの販売開始に向け準備中。今後もシナジーを生み出すべく様々な施策の検討を行い、デジタルマーケティング事業の強化を図ります。



アジアクエスト社は、IoT・AIからシステム開発、アプリ開発、クラウドといった幅広い領域をカバーできるITサービスを提供し、お客様のデジタルトランスフォーメーションを支援する企業です。子会社のアジアクエストインドネシアは、2018年「サイボウズアワード」の「グローバル賞」を受賞。

- 新聞の情報がARで広がるアプリ「日経AR」にスターティアラボ(株)のAR技術が採用。
- スマホアプリのダウンロードをせずにAR体験が実現できるWebAR制作ソフト「LESSAR(レッサー)」の提供を2018年10月10日より開始。
 LESSAR
※WebブラウザからのARマーカの認識技術において特許出願中
- ARアプリ「COCOAR2」が銀座三越「スヌーピー in銀座2018」にて活用(2018年7月25日～8月12日)。
 COCOAR
- AR企画・制作サービス「キャラクター×AR」を用いたAR企画が、東京・中野にて開催された2つの「キャサリン・フルボディ」PRイベントにて実施(2018年11月3日～4日)。

COCOARとは

COCOARは「AR(拡張現実)」を簡単に作成できるクラウドツールです。(導入社数1,700社以上、ダウンロード数200万ダウンロード超)



続けるアジアNo.1のITグローバル企業へ。

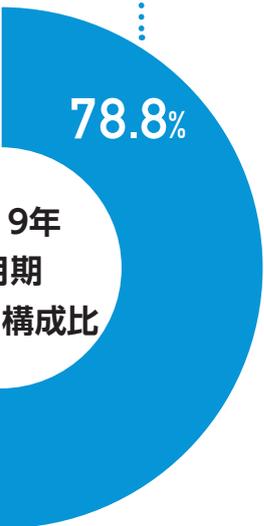
後も、グループ各社が提携しながら、さらなる飛躍を目指してまいります。



ITインフラ関連事業

セグメント別売上高

9,383百万円



ITやテクノロジーを手段として企業に「解決」を提案。

情報システム部門の負担が高まっている中小企業のお客様に、オフィスに欠かせない基幹設備から事務サポートまでトータルソリューションを提供しております。

新たなサブスクリプション収益モデル 「 BizSUKE 」導入企業1,500社突破

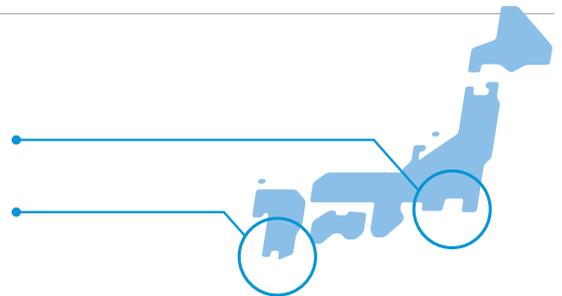
ビジネスに役立つサービス全23種(2019年3月末現在)を月額5,800円(税別)で提供する、トータルサポートサービス「BizSUKE」を2018年1月から展開。お客様の評判が高く、2019年3月末時点で導入企業1,500社を突破しました。



TOPICS

着実なM&Aで事業を拡大

- 関東で情報機器の小売、販売を展開する株式会社サガスの一部事業を譲受(事業譲受日:2019年2月1日)。
- 鹿児島でOA機器の販売を行う株式会社東和オフィスマシンの事業を譲受(事業譲受日:2019年3月1日)。



【ビジネスアプリケーション関連事業

セグメント別売上高 325百万円

仕事と生活の質を高め、「働く人を笑顔にする」ITサービスを提供。

労働生産性の向上やダイバーシティ対応として、クラウド型ストレージサービス「セキュアSAMBA」での生産性の向上や、ITソリューションサービス「RPA技術」による業務の自動化支援を図っております。

TOPICS

- 2019年1月、Amazon Web Services(AWS)が提供するAWS Partner Network(APN)^{*}において、アドバンスドテクノロジーパートナーに認定。

^{*}AWSの世界的なパートナープログラム。ビジネス、技術、マーケティング、および販売促進をサポートすることで、APNパートナーがAWSベースのビジネスやソリューションの構築に成功するよう支援することに重点を置いています。

【海外関連事業】セグメント別売上高 141百万円

海外事業各社に対し、計数管理等の業務をサポート。

中国在住の日系企業向けに、日中間のセキュアなインターネットを高速・安定化するサービス「Global Gateway」を提供しております。

【CVC関連事業】(コーポレートベンチャーキャピタル)

主に東南アジアを中心とした海外投資案件の発掘、実行、管理を実行。将来有望な最先端のIT企業に向けて積極投資を行い、当社と相手方企業の双方のWin-Winの関係構築を目指しております。

【その他

海外IT人材の育成とコンサルティング事業を展開。

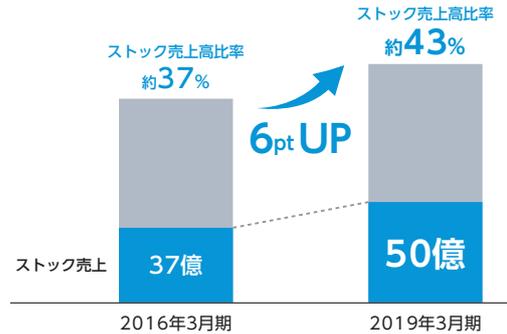
国内でのIT人材の不足が課題となる中、日本語をビジネスで活用できるIT人材の育成と集客を、東南アジアを中心とした海外向けに行い、国内企業のニーズに合ったIT技術者を提供します。

創業以来築き上げてきた強固な顧客基盤をもとに、
多様なITソリューションでお客様をサポートし、
当社グループの持続的成長を目指してまいります。

当社グループの強み

- 1 約2万社超の中小・中堅企業の顧客基盤との強固なリレーションシップ
- 2 サブスクリプションモデルを拡大し、安定成長できる収益基盤を構築
- 3 ITインフラからデジタルマーケティング、RPA等、幅広いサービスラインナップをワンストップで提供

ストック収益の積み上げは順調に推移しており、過去最高の売上高を達成。



主な成長戦略

戦略1

デジタルマーケティング関連事業戦略

成長市場を確実に捉え、デジタルマーケティング事業を第1の柱として育成

統合型デジタルマーケティングサービス「Cloud Circus(クラウドサーカス)」を拡販

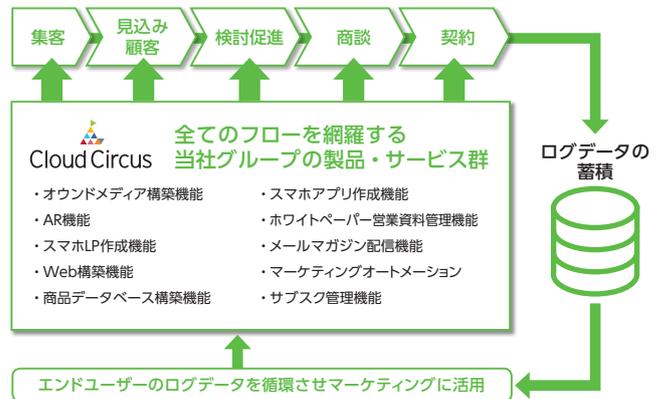
ARからWebサイト誘導、サイト分析で見込み顧客～潜在顧客へ電子メールを自動発信する等、自動的な販売促進活動を支援。

各種アプリケーションのフリーミアム化を推進し、顧客層を拡大

ホールプロダクト戦略の推進

ツール導入支援コンサルティング、広告運用、3Dコンテンツの制作やイベントの企画設計等を行うことで幅広い顧客層を取り込む。

企業のマーケティングフロー



戦略2

ITインフラ関連事業戦略

既存の深耕とM&Aを活用した成長戦略を推進

オーガニック成長

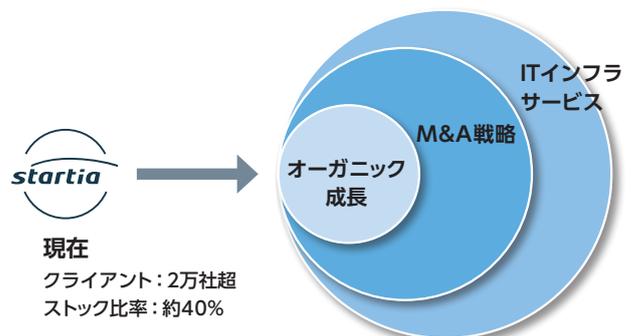
安定継続成長、ストック比率約40%。

M&A戦略

地方OA機器販売会社でITリテラシー、Webサービス、営業人員が不足している企業をM&A。

ITインフラサービス案件数の増加

顧客数増加に伴い、ネットワーク、ビジネスに役立つサービスまで事業運営に必要な各種サービス案件を獲得。



より良い地球環境を残すためにCSRの一環として清掃活動を開始



2019年2月5日にお台場の海岸で清掃活動を行いました。40名以上の従業員およびそのご家族の方にご参加いただきました。海岸で特に多く見られたのは、ビニール袋やペットボトルなどのプラスチックごみです。プラスチックごみは自然界では分解されず残り続け、生態系に影響を及ぼしています。それは食物連鎖の中で生きる人間にも他人事ではありません。我々の清掃活動は地球規模から見れば小さな活動かもしれませんが、これからの世代の人々にどれだけよい地球環境を残していけるのか、その一助になればと思います。この清掃活動は、現状では第4回まで実施予定で、今後は海だけでなく河や山などでも行っていきます。

BHNテレコム支援協議会(認定NPO法人)に「ビジ助」の売上金額の一部を寄付*



BHNテレコム支援協議会(認定NPO法人)は、開発途上国や被災地に住む人々が、普段の生活でも災害が起こった時でも、必要な情報にアクセスして安全・安心の環境で過ごすことができる世界を目指し、活動を行っています。スターティア(株)の提供する「ビジ助」は企業が持つ<困った>に対して、様々な「役に立つ」ビジネスサービスを詰め込んでいます。対象は違いますが、ICTを活用し、安心・安全を守り様々な課題解決をする、人々の<困った>に寄り添うという当社との共通の価値観が一致し、このたび寄付を行いました。

※2018年1月～同年12月末までの総売上金額の一部

北海道内全域の企業に対し、クラウドストレージ「セキュアSAMBA」を無償提供

スターティアレイズ(株)は2018年9月6日に発生した平成30年北海道胆振東部地震を受け、道内全域の企業に対して、自社サービスのクラウドストレージ「セキュアSAMBA」を2018年9月末まで無償で提供いたしました。

NEWS

障がい者雇用のための講演活動

スターティアウィル(株)では、「障がい者雇用を始めた・強化したい」、そのような企業様向けに講演会を随時開催しております。就労支援機関やハローワークからの講演依頼も増加傾向で、今後もそのような機関等と連携を図り、自社のみならず障がい者雇用をより広く推進し、社会に貢献したいと考えています。

社内に会社の想いを浸透させる秘策「ワクスタ」開始

当社グループでは「感謝・挑戦・楽しむ」という3つをワーキングスタイルの理念として掲げています。その理念を社員に浸透させる施策として始めた制度が「ワクスタ(ワーキングスタイル普及推進制度)」。「ワクスタ」は、「やってみようこと」「職場では経験できないこと」、例えば仕事に関する資格取得や、仕事仲間との富士登山など、写真一人ひとりが改めて「ワーキングスタイル」を考える活動を支援するもので、会社から活動支援金が支給されます。社員からも「ワクスタ どうする?」といった声があり、当制度が業務活性化につながる試みだと実感しています。



Café Rounge「NEXT'S」がオープン!

2018年9月、本社内にオープンしたCafé Rounge「NEXT'S(ネクスト)」は、バーカウンター風のミーティングテーブルや、ソファブースなど、カフェの雰囲気や遊び心を持ちつつも、社員がいかに業務を進めやすくなるかを考えたエリアになっています。社員からの評判も上々で、今後、社員満足度の向上や業務の生産性向上にも大きく貢献し、グループ全体の成長につながっていくと期待しています。



クリスマス・イブにファミリーデー初開催!

2018年12月24日、「ワクスタ」からの企画で、Café Rounge「NEXT'S」にて社員のご家族をオフィスに招くファミリーデーを開催いたしました。クリスマスツリー、ブッフェ、クリスマスケーキを用意して雰囲気を盛り上げ、親子で楽しく遊べるゲームやバルーンアート、さらにサンタに扮した役員が社員のお子様へプレゼントを配るなど、会場はまさにクリスマス一色! 家族に職場環境を見せることで仕事に対する理解も深まり、社員のモチベーション向上につながる取り組みとなりました。



会社情報 / 株式情報

会社概要 (2019年3月31日現在)

商号	スターティアホールディングス株式会社 (英文名称: Startia Holdings, Inc.)
本社所在地	東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス19階
事業内容	グループ会社の経営管理等
設立	1996年2月21日 2018年4月1日「スターティア株式会社」より商号変更
資本金	824,315千円
従業員数(連結)	623名
上場取引所	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード: 3393)

スターティアグループ企業一覧 (2019年3月31日現在)

連結対象子会社 11社

スターティア株式会社/スターティアラボ株式会社/
スターティアレイズ株式会社/Startia Asia Pte.Ltd./
スターティアウィル株式会社/Mtame株式会社/
ピーシーメディア株式会社/株式会社エヌオーエス/
上海思達典雅信息系统有限公司/
台湾思達典雅股份有限公司/Worktus株式会社

持分法適用関連会社 3社

株式会社MACオフィス/株式会社アーバンプラン/
西安思達典雅软件有限公司

役員 (2019年6月20日現在)

代表取締役社長 兼 グループ最高経営責任者	本郷 秀之
取締役 兼 グループ執行役員 管理本部長	植松 崇夫
社外取締役	鈴木 良之
社外取締役	鷹松 弘章
社外取締役	森 学
社外監査役	荒井 道夫
社外監査役	郷農 潤子
監査役	松永 暁太

株式の状況 (2019年3月31日現在)

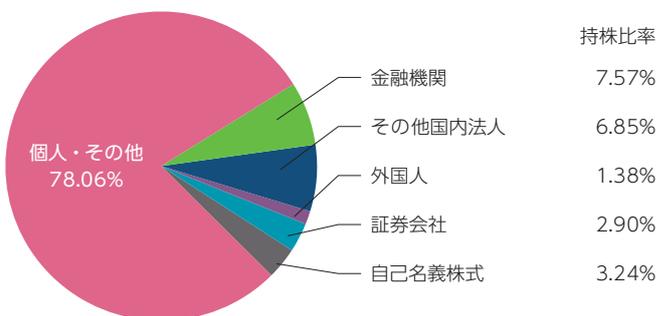
発行可能株式総数	35,200,000株
発行済株式総数	10,240,400株
株主数	3,298名

大株主の状況 (2019年3月31日現在)

株主名	所有株式数(株)	持株比率
本郷 秀之	4,134,600	41.73%
株式会社光通信	682,500	6.89%
財賀 明	499,600	5.04%
スターティアホールディングス従業員持株会	299,817	3.03%
古川 征且	272,600	2.75%
源内 悟	246,400	2.49%
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	144,700	1.46%
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)	143,900	1.45%
橋本 浩和	131,400	1.33%
笠井 充	126,300	1.27%

※持株比率は、自己株式(331,311株)を控除して計算しております。

株主分布状況 (2019年3月31日現在)



IRサイトのご案内

さらに詳しいIR情報は当社のWebサイトから
ご覧いただけます。

<https://www.startiaholdings.com/ir.html>



IRメール配信のご案内

登録いただいた皆様にプレスリリース、決算情報など、IRに
関する新着情報をメールにてお届けしています(無料)。ご希望
の方は、以下のURLもしくはQRコードよりお手続きください。

【ご登録はこちらから】

<https://www.startiaholdings.com/ir/irmail.html>



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	6月に開催します。
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日
配当金	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株式名義書換	株主名簿管理人 〒100-8233 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、やむ をえない事由により電子公告を行うことが できない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL https://www.startiaholdings.com/ir/ financial/e_publicnotice.html

本ビジネスレポートに関するお問い合わせ先

スターティアホールディングス株式会社 IR窓口
〒163-0919 東京都新宿区西新宿2丁目3番1号 新宿モノリス19F TEL 03-5339-2109(平日9時~18時)
MAIL ir@startiaholdings.com IR情報ホームページ <https://www.startiaholdings.com/ir.html>



仮